公表　事業所における自己評価総括表

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ○事業所名 | はばなけあ高畑 | | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和8年10月1日 | ～ | 令和8年10月15日 | |
| ○保護者評価有効回答数 | （対象者数） | 15 | （回答者数） | 7 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和8年10月1日 | ～ | 令和8年10月15日 | |
| ○従業者評価有効回答数 | （対象者数） | 6 | （回答者数） | 6 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和8年11月2日 | | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み（※）だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---|---|---|
| 1 | 入浴支援 | ・安全に入浴できるよう、利用者の体調や機嫌を確認し、適切な声かけや見守りを行っている。<br>・入浴手順の統一や記録の徹底をしている。 | ・個々の状態に応じた入浴方法や介助方法の見直しを定期的に行う。<br>・入浴によるリラックス効果やスキンケアの視点も取り入れ、より快適に入浴できる環境を整える。 |
| 2 | 個別療育 | ・アセスメントをもとに利用者に合わせた活動を考え、取り組んでいる。<br>・日々の様子を記録し、支援の見直しを行っている。 | ・多職種との連携を強化し、評価を共有して次へつなげていく。 |
| 3 | 季節の活動 | ・季節に合わせた制作や行事を取り入れ、楽しめる機会を設けている。 | ・活動のバリエーションを増やし、より多くの利用者が参加できるよう工夫する。 |

| | 事業所の弱み（※）だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|---|---|
| 1 | 入浴支援に時間を要するため、集団活動の時間を十分に確保することが難しい。 | 利用者それぞれに応じた入浴介助が必要であり、集団活動に参加できる時間が限られている。 | 入浴時間や職員配置を工夫し、短時間でも全員が参加できる集団活動を取り入れていく。 |
| 2 | | | |
| 3 | | | |

（別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

| 事業所名 | 児童デイはばなけあ高畑 |
|---|---|

公表日 R8年11月4日

利用児童数 15　　回収数 7

| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 環境・体制整備 | 1 | こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 7 | | | | | |
| | 2 | 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 6 | | | 1 | | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 7 | | | | | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 7 | | | | | |
| 適切な支援の提供 | 5 | こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 7 | | | | | |
| | 6 | 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。 | 6 | | | 1 | | |
| | 7 | こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 7 | | | | | |
| | 8 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 6 | | | 1 | | |
| | 9 | 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 7 | | | | | |
| | 10 | 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 6 | | | 1 | | |
| | 11 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。 | 1 | | | 6 | | |
| 保護者への説明等 | 12 | 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 7 | | | | | |
| | 13 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 7 | | | | | |
| | 14 | 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 2 | | | 5 | | |
| | 15 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。 | 7 | | | | | |
| | 16 | 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 6 | 1 | | | | |
| | 17 | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 6 | | | 1 | | |
| | 18 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 1 | | 1 | 5 | | |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 19 | こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 6 | | | 1 | | |
| | 20 | こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 7 | | | | | |
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。 | 6 | | | 1 | 画像などアプリで見れるようになってうれしい。 | 今後も活動の様子を載せていきます。 |
| | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 6 | | | 1 | | |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 6 | | | 1 | | |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 5 | | | 2 | | |
| | 25 | 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。 | 6 | | | 1 | | |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 6 | | | 1 | | |
| 満足度 | 27 | こどもは安心感をもって通所していますか。 | 7 | | | | | |
| | 28 | こどもは通所を楽しみにしていますか。 | 7 | | | | | |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 7 | | | | | |

（別紙５）

# 公表　事業所における自己評価結果

| 事業所名 | 児童デイはばなけあ高畑 |
|---|---|

公表日　R8年11月4日

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 6 | | 利用者様が安心して過ごせるよう、活動内容に応じてスペースを確保している。 | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。 | 6 | | 利用者様の障害特性や医療的ケアの必要性に応じて、職員を配置している。 | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 6 | | スペースを区切り、安全で過ごしやすい環境を整えている。 | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 6 | | 毎日の清掃・消毒を行い、清潔で快適な環境づくりに努めている。 | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 5 | 1 | 活動内容に応じて、落ち着いて過ごせる場所を確保している。 | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | 6 | | 職員間の話し合いを通じて、支援方法の見直しを行っている。 | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 6 | | 意向を確認し、支援内容に反映できるよう努めている。 | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 6 | | 業務や会議の中で職員の意見を共有し、繋げている。 | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | | 6 | 外部評価は行っていない。 | |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 6 | | 外部研修の機会を受講している。 | |
| 適切な支 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 6 | | 支援プログラムをホームページで公表し、支援内容の周知に努めている。 | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | 6 | | 利用者様の状態や保護者様の意向を把握し、個々に応じた支援計画を作成している。 | |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 6 | | 個別支援計画作成会議で職員の意見を共有し、多方面から支援内容を検討している。 | |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。 | 6 | | 職員が支援計画を確認できるようにし、共通理解のもとで支援を行っている。 | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 6 | | 日々の様子や活動時の反応を観察・記録し、利用者様の状態把握に努めている。 | |
| | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 6 | | ５領域を踏まえ、利用者様一人ひとりの発達や生活状況に応じた支援を行っている。 | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 6 | | 利用者様の興味や身体状況に合わせ、職員間で意見を出し合いながら活動を考えてる。 | 入浴介助や医療的ケアに時間を要するため、限られた時間の中で集団活動を充実させる工夫が必要である。 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 援の提供 | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 6 | | 利用者様の体調や興味に合わせて、活動内容を工夫している。 | |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | 6 | | | 個別のケアを優先する場面が多く、集団活動との両立が難しい。 |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 6 | | 支援前に利用者様の体調や注意点を確認し、職員間で情報共有している。 | |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。 | 6 | | 支援中の様子や気づいたことを職員間で共有し、次回の支援につなげている。 | |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 6 | | 日々の支援内容や利用者様の反応を記録し、支援方法の見直しに活用している。 | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 6 | | 定期的にモニタリングを行い、目標の達成状況に応じて支援計画を見直している。 | |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。 | 6 | | 利用者様の身体状況に配慮し、無理なく参加できる活動を取り入れている。 | |
| | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | 6 | | 表情や視線、身体の動きなどから意思をくみ取り、本人の選択を大切にしている。 | |
| 関係機関や保護者との連携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 6 | | 担当者が参加している。 | |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 6 | | 安全に支援できる体制を整えている。 | |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | 6 | | 送迎時に様子や体調を共有し、安心して利用できるよう努めている。 | |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | 3 | 3 | 必要に応じて関係機関との情報共有を行い、連携に努めている。 | |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | 6 | | 移行先への情報共有などは、必要に応じて行っている。 | |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。 | 3 | 3 | | 連携を取り、行っていきたい。 |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | 2 | 4 | | 交流は行っていない。 |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | 2 | 4 | | 参加できるよう検討していく。 |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 6 | | 送迎時、利用者様の様子や体調の変化を保護者様と共有している | |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 5 | 1 | 保護者様からの相談に随時対応し、一緒に考えている。 | |
| | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 6 | | 契約時に説明している。 | |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 6 | | モニタリングを通して保護者様の意向を確認し、支援計画に反映している。 | |
| | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。 | 6 | | 支援計画の内容や目標を保護者様と確認し、説明を行っている。 | |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 保護者への説明等 | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 6 | | 保護者様からの相談に随時対応し、必要に応じて助言や支援を行っている。 | |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。 | 3 | 3 | | 保護者様との日々のコミュニケーションを大切にし、相談しやすい関係づくりに努めている。 |
| | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 6 | | 相談や苦情があった際には、職員間で情報共有し、迅速かつ適切な対応に努めている。 | |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 5 | 1 | 定期的にお便りを発行し、活動の様子や行事予定などを伝えている。 | |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 6 | | 個人情報の管理を徹底し、職員間でも取り扱いに十分注意している。 | |
| | 44 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 6 | | 言葉での意思表示が難しい利用者様にも、表情や反応を確認しながら対応している。 | |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 2 | 4 | | 地域住民を招待する行事を行っていない。 |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 6 | | 各種マニュアルを整備し、職員間で共有するとともに訓練の実施を行っている。 | |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 6 | | BCPを策定し、緊急時に備えて職員間で対応方法を確認し、訓練を行っている。 | |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 6 | | 発作や体調変化などの情報を事前に確認し、職員間で共有している。 | |
| | 49 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 5 | 1 | 対応している。 | |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 6 | | 安全計画に基づき、設備の点検や職員への周知を行い、安全確保に努めている。 | |
| | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。 | 6 | | 周知している。 | |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 6 | | 職員間で共有し、再発防止について話し合っている。 | |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 6 | | 虐待防止に関する研修を実施し、職員の意識向上と適切な支援に努めている。 | |
| | 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 6 | | 記載し、説明を行い同意を頂いている。 | |